

# 岡山市区づくり推進事業助成申込書

## (地域活動部門)

平成 27 年 3 月 30 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ムサチヨウナイカイ  
 団体名 牟佐町内会  
 所在地 岡山市北区牟佐908-6  
 連絡先 086-229-3737  
 フリガナ タジリユウジ  
 代表者氏名 田尻祐二

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決    イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	住民参加型地域発見事業 (古代山陽道の復元と伝承)
事業実施区域(小学校区)	牟佐町内会の区域 (牧石学区)
事業実施回数	<input checked="" type="radio"/> 新規 ・ <input type="radio"/> 継続    回目 (    年度から)
事業の目的	※解決をはかりたい地域課題等について記載してください。 牟佐町内に存在する古代山陽道を地域資源としてとらえ、住民参加のもと、放置されたままの状態から、地域住民なら誰でも知っているレベルまで可能な限り現地を復元し、それらを伝え残すことにより、地域愛を育みながら地域の活性化につなげていこうとするもの。
事業の必要性	牟佐町内には、大塚古墳をはじめとした古墳群がみられます。比較的古くからの墓地も多く、旭川を渡船で渡っていた場所には「渡場(わたしば)」の名称が残り、そこで生まれ育った方には、古くからの複数の旅籠屋号も記憶に残っています。ただ、今ではごく一部の方々のみが知るところ。「備中高松城の水責めの後、取って返した豊臣秀吉軍の半分がここを利用した記録がある」とは、歴史に詳しく前町内会長の寺阪氏(故人)がよく語っていました。ちなみに、一昨年、牟佐町内会新聞に寺阪氏が連載した「牟佐歴史シリーズ」が終了し、冊子にまとめました。赤磐市分に古代山陽道の高月駅の位置を探ったことがあったようですが、発見できなかったことは、岡山市教育委員会からお聞きしました。古代山陽道として栄えたであろう往時がしのばれます。今、そのルートを、地域住民自身が中心になって探り、復元し、残していく、伝えていくことは、我が地域の歴史資源発見を通して地域愛を育み、コミュニティーの活性化に大きく貢献すると思われれます。この動きが、旭川西岸の玉柏地域、さらには津高駅へと続くルートにつながれば同様に拡大できるものと考えています。

事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.町内の多様なグループ（町内会、シニアクラブ、婦人部、子供会、PTA、保育園、郵便局、刑務所、太戸の滝を守る会などボランティアほか）で構成する「牟佐まちづくり協議会」の場を活用し、市教育委員会の応援もいただき準備会議を立ち上げる。</li> <li>2.古代山陽道について、住民参加の学習会を開催する。</li> <li>3.ルートを探り、可能な範囲で住民参加の復元作業を行い特定する。マップを作成し、現地には表示板等を設置。その後の管理についても積極的に地元住民が関わる仕組みを作る。</li> <li>4.復元された古代山陽道を子供たちと共に地元住民が歩き、我が地域の歴史を学ぶ中で地域愛を育むようなイベントを開催する。</li> <li>5.記録を残し、次世代に伝えていく。</li> </ol>
期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.地域の歴史資源を通して地域を知り、地域愛を育み、地域コミュニティの活性化に大きく貢献する。</li> <li>2.多様な団体・グループ・住民で構成する牟佐まちづくり協議会が活性化する。</li> <li>3.古代山陽道復元の取り組みは、旭川西岸の玉柏地域、さらには津高駅へと続くルートにつながれば大きく広域に広がる可能性がある。</li> </ol>
企画などの工夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.埋もれた道を地元住民の手で草刈等整備、復元するという住民の手づくり。</li> <li>2.町内に存在する多様な団体との協働。</li> <li>3.古代山陽道が維持され受け継がれ、次世代につながるように、歴史的な道を歩く楽しさを子供たちに伝える。</li> <li>4.平成19年、地元にある「太戸の滝」を旭川下流域の源流と位置付けて、関係団体の協力の元、現地のヒノキの提供を受けて、切り出し、皮をむいて、文字を掘って「旭川源流の碑」を建立した。すべて子どもたちを含む住民たちが参画して、三世代で実施した。これを参考にして、同様の取り組みができるものと考えている。</li> <li>5.住民参加の歩く会（仮称）には、参加者に記念品を配布して意識付けをしたい。町内会が、古代山陽道近くでもイノシシを駆除しているが、地元旭川荘吉備ワークホームが扱うイノシシ皮革を活用したグッズを考えたい。</li> </ol>
事業の情報公開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業の経過を電子町内会で広く発信する。</li> <li>2.町内全体で共有するとともに、学区へも情報発信する。</li> </ol>
次年度以降の予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.持続可能な取り組みとして、住民が維持管理に関わる。</li> <li>2.年1回は地域住民が、古代山陽道を子供たちと一緒に楽しく歩けるようなイベントの開催。</li> </ol>
その他PRしたい点	<p>※小学校区より小規模（単位町内会等）で実施の場合は、広がりについても記入してください。</p> <p>この動きが、旭川西岸の玉柏地域、さらには津高駅へと続くルートにつながれば同様に拡大できるものと考えています。</p>

